



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN  
WEEKLY REPORT

設立 昭和63年(1988)5月23日  
事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階  
TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010  
WEB.http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp  
例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111  
会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1427回 例会 2021年(令和3年)7月19日

本日のプログラム (本日のプログレス 平山 明彦 SAA)  
○ ロ-タリ-ソング 「おおロータリー」  
○ 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告  
○ 委員会卓話 「職業奉仕」「社会奉仕」「青少年奉仕」「R財団」「SAA」  
○ Cグループ会合 31階「ローズ」13:40～

前回(7月12日)例会記録

◇プログレス 平山 明彦 SAA

- ・われは海の子
- ・おかわいいアウグスティン
- ・おかあさん

1. 来客紹介 岡本 真太郎 親睦委員長

ゲスト:1名 地区外:0名 地区内:1名 合計:2名

ゲスト:米山奨学生 郭 鑫 君

2. 会長の時間 「ロータリー100年 人生も100年」 宮原 彰 会長



先般5月25日に東京ロータリークラブの主催により「日本のロータリー100周年を祝う会 記念式典・祝賀会」がオンラインで配信されました。

日本のロータリー100周年を祝い、振り返り、そして、これからのロータリーについて、皆様と共に考える時間を共有出来れば幸いです。そして100年に一度の機会を皆様とお祝いしたいとの、ご案内でした。その後、インターネットでロータリー日本100年史の案内が目にとまりました。「ロータリー日本100年史」とありまして6月末に発行します。

クラブ事務所にて7月下旬から1セット贈呈いたしますと書いてありました。日本のロータリーの発展を物語風に仕立てて紹介すると共にロータリーの創始者ポールハリスの思想が、日本でどのように広まって行ったか詳しく解説しているそうです。楽しみに待つことに致します。

日本のロータリーも100年になるかと思ひながら、そういえば人生100年時代という言葉もよく耳にするようになってきました。人生100年時代と聞いて、今更驚いたり感動することもないかと思いますが、歴史的に見て見ますと平安時代の平均寿命は何と30歳、江戸時代が32歳～44歳、明治・大正時代が44歳とありますから、人生100年と言うのは、大変なこと、凄いことだと改めて思います。みなさんもそう思われませんか。

日本では人生50年と言われた時代が長く続きました。お齡は？聞いて60歳と言われようものなら、お年寄りと言うイメージでした。童謡の中にも、村の渡し船頭さんは、今年60じゅうのおじいさん歳をとってもお船を漕ぐときは、元氣いっぱい櫓がしなうと唄われたものです。今では60と聞いてもおじいさんとは思いません、第一本人がそう思っていないから。サラリーマンの定年も55歳が一般的だったのが、60になり60歳の定年になってから、再契約で雇用を続けると言うのも、一般的になって来ています。定年に関してはこれからも伸びていくようです。

若い世代が少ないのだから高齢者に頑張ってもらいましょうという事のようにですが。

コロナの影響が人口にも表れて2020年の出生数は約80万人記録を取り始めて以来最小の出生数とありました。

ピーク240万結婚の件数も減っていて、2020年は全国で7万組に減っていたそうです。

毎年秋の敬老の日が近づいてきますと、全国で100歳以上が増えたと言うニュースが目に入ってきます。

日常生活の中でも100歳を超えて元氣なお年寄りが珍しい存在ではなくなって来ています。

人生100年時代という事は、それだけ長くこの世に存在するのですから、いいこともいっぱいあるでしょうし、よくないこともあります。癌にしても二人に一人がかかるといわれる時代でもありますし、どんなウイルスがやってくるかもしれません。医学の進歩のお陰で寿命が延びていくのは、有りがたいことですが、自然の流れの中で健康に恵まれて100才まで行くのも、一つの人生と思いますが、人生100年時代と言うなら、一つ積極的に自分独自の目標を立てて、健康でそれこそ宇宙旅行を目指すぐらいの目標を考えて見る、のは如何でしょうか。

私がこんなことを思いましたのは、京都に日本電産と言う精密モーターの開発で大きくなった企業がありますが、その創業者で会長の永守重信さんは、常には大きな目標を掲げて世間に公表し、その通りに実現して来られました。その永守さんが、まだ貸しビルで事業を展開しておられた頃に、将来の目標は京セラより大きいビルを建てると申され、それが新聞記事になり、その通りになってこられました。その永守さんが今年の年頭にご自分は125歳まで現役を続けと言われたそうです。

寿命は天からの授かりものかもしれませんが、自分の思いが現実になるとも言われますので、平均寿命の一寸上までおれたらいいわ、でなく、125歳までと言う強烈な思いが、健康な体を創りだして行く原動力でもあると思いますので、私もこの際90歳位までは、行ければと思っております。そんなあほなど、笑わずに、人類は思いを形に、思いを現実にしてきたのですから、思うだけ思わせてください。

皆さんの思いをお聞かせ頂けると嬉しいです。有難うございました。

### 3. 幹事報告 岩崎 寿英 幹事

①前年度に引き続き、今月の例会の座席は座席表によって決めていきます。

基本的には、小グループのメンバーごとに決めていきます。

②まん防期間中は、例会についてはオンライン併用で開催いたします。

③2660地区より「2021年7月静岡県熱海豪雨災害」支援金に対しての寄付金の依頼が届いております。

締切(7/28)の関係上、会長幹事において金額を決定させていただきました。お一人当たり2千円を、個人預金より拠出いたします。

### 4. 委員会報告 会員増強委員会 小島 常男 委員長

10月11日(月)に体験例会を開きますので、会員候補者の勧誘をよろしくお願ひいたします。

## 5. 米山奨学金授与 米山奨学生 郭 鑫 君



宮原会長より、米山奨学生の郭鑫(かくきん)君へ奨学金が授与されました。  
その後、簡単にご挨拶をしていただきました。

## 6. ニコニコ報告 新川 晃生 親睦委員

塩尻 会員……本日卓話よろしくお願ひ致します。

新川、清水、天野、坂本、俣野、吉本、沖、井澤、中西、岡本(茂)、岡本(真)、宮原、竹内、中村、中井、原山、小島、北野、岡野、伊藤、岩崎、松谷、大磯、

各会員……畑岡奈紗2年ぶり米ツアー優勝 4勝目おめでとうございます

## 7. 出席報告 平山 明彦 SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 37名 出席会員数 30名(内ZOOM参加1名) 出席率 81%

第1424回(6月21日) 修正出席率 93%

## 8. 委員会卓話

◎ 国際奉仕委員会 吉本 力 委員長



国際奉仕委員会の委員長を拝命いたしました吉本です。

本年度は、まだコロナの状況が読めないところではありますが、少なくとも海外に行くことには多くの制限がかかると思いますので、まずはZOOMを使った国際交流を企画・実行し、事例を作ることをファーストステップにしたいと思っています。

具体的には、カンボジアの小学校と日本の開平小学校との間で、児童同士の国際交流をZOOMで実施できないかどうかについて、青少年奉仕委員会とも相談しながら企画したいと考えております。その前例を作ったうえで、バリ島その他の地域との国際交流や、シンガポールロータリークラブとの交流などにも拡張できないか、検討したいと思います。

今年1年、皆様のご指導、ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

◎ 米山奨学委員会 塩尻 明夫 委員長



皆様こんにちは

本年度米山奨学委員長を拝命しております塩尻でございます。

ワクチン接種の動向や、緊急事態宣言下でのオリンピック、また大阪の感染者数の推移などが気になります。

さて、本日は米山委員長として、今年度方針と活動計画についてお話し致します。

短い時間ですがお付き合いください。

さて先輩会員の皆様は米山奨学事業の意義や様々な活動を十分にご承知かとは思いますが、新しい会員の皆さんにはまだまだ不明な点があると思いますので、その歴史や意義について簡単に御説明致します。

米山奨学事業は、はじめ東京クラブのプロジェクトとして発足したもので、日本ロータリーの創始者米山梅吉翁の逝去にあたり、その偉業を記念して発足しました。

しかしこの奨学事業の本質的な目的は、単なる奨学金の贈与ではなく「将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学すること」です。

現在、大きな注目を集めている大谷選手のように、国際社会において活躍して世界に良い影響を与えているおられる日本人もたくさんおられますが、ロータリークラブを通じて日本や日本人、日本文化をよく知り、愛着をもってくれる日本人以外の人間を少しでも増やすことが、国際社会における日本のプレゼンスを高める非常に有効な手段の一つであるという点は間違い無いと思います。

このようなことを考えますと、奨学生についてもこの機会だけではなく、やはり日本というものを理解し、日本で一生懸命勉強したということ、本人だけではなく後の世代にもきちんと伝えてもらうということ、これこそが米山奨学事業の本質ではないでしょうか。そのためには、押しつけではなく、息の長い、子供や孫の代まで続く良い関係を続けていくことが大切であるように思います。

この米山奨学事業の詳しい歴史や、寄付金としての税制の扱いなどは、10月に予定されている米山月間の卓話にてお話できればと思います。

コロナ禍において、クラブの活動自体が大きな制約を受ける中、米山奨学事業についても大きな影響を受けざるを得ないと思います。

特に、昨年のようにクリスマス会などの懇親会や、以前澤田会員がなさったように海外での支援活動に同行頂くなどの活動が、どうしても実施できないことも想定できます。この点、奨学生の郭さんはもちろん、カウンセラーの清水さんやみなさんにはいろいろとご負担をお掛けするかもしれません。

今後ワクチン接種が進んで状況が改善できることを祈りつつ、状況に応じて適時に方針を検討し、先ほど述べたような米山奨学事業の目的が少しでも達成できるように進めて行きたいと思っております。

#### ◎ クラブ戦略計画委員会 林 拓 委員長



会長方針に沿って地域社会への社会奉仕活動と国内外の青少年教育育成活動を通し、当クラブをより楽しい存在価値あるクラブ造りに努めます。

ビジョン: 子供たちへ＝船場地区の教育参加とバリ島の教育支援を主軸ビジョンとしながら、新会員にとっても魅力あるクラブであるための新しい奉仕活動の創出にも取り組みたい。子供をビジョンにすることで女性会員にも親近感のある奉仕活動が可能であると、中村前委員長の配慮でビジョン策定をして頂きました。

また昨年度の委員会卓話でもお話させていただいたように新入会員の竹内さんのように入会前からカンボジアでの学校建設と寄贈に自社で取り組んでおられる例もあります。今後は入会3年未満の新入会員の方々からも広くご意見を頂戴して子供達へというビジョンに沿った魅力ある新しい奉仕活動の創出にも取り組んでいきたいと思っております。

会員増強委員会と連携し新入会員勧誘獲得については最優先で取り組んでいきたいと思っております。また会員増強において新しい魅力ある奉仕活動の創出という課題は必須項目だと思われまます。その課題に取り組むためにもまずは新型コロナウイルス感染拡大に配慮しながらにはなるかと思っておりますが、可能な時期にクラブ戦略計画委員会を開催し当クラブのビジョンにおける軌道修正の必要性や新しい奉仕活動への取り組みなど委員の皆様とオブザーバーの方々にもご参加頂きご意見を交わしたいと思います。

☆次回7月26日(月)例会予定

・委員会卓話: 会員増強

・Aグループ会合「とらふぐ屋」17:00～